

つくば国際短期大学中期計画～教学に関する事項～

＜令和2年度（2020年度）より5年計画＞

本学は建学の精神を「白梅」に託し、百花にさきがけて花開き、やがて立派な実を結ぶ白梅の花実両全の姿に象徴される人間像を理想としている。保育科においては建学の精神を身につけ、保育現場の要請に十分応えうる資質と能力を持つ保育者を養成することを教育目標としている。

この目標を実現するために中期計画を策定した。以下は、教学面を中心とした事項を示している。なお、平成29年度認証評価結果を踏まえた内容となっている。

1. 教育の質の保証

①FD活動の活発化による授業改善

FDをさらに活性化させるために、学内研修や学外研修も加えた幅広い取り組みを推進する。

②学習成果の可視化による教育効果の検証

学習成果の査定仕組みを使った教育効果の検証を目指す。

③音楽に関する指導の充実

演習科目の新設等による音楽表現分野の能力向上を図る。

④GPAの活用拡大による教育の質の保証の推進

学生指導の指標として活用し、教育の質の向上を目指す。

⑤学生の卒業後評価アンケートの結果の分析と活用

卒業生の就職先からの評価を参考にした教育の改善を進める。

⑥3つのポリシーの継続的検討

PDCAを通じて、精査・検討を継続する。

2. 学生支援の充実

①学生満足度調査の実施と調査結果にもとづく学生支援の改善

②新校舎建設による耐震化、学習支援、生活支援の推進

③キャリア支援の充実による高い就職率

目標：資格を生かした就職率95%以上

3. 入試・広報活動の改善

- ①特待生制度の新設の検討
- ②併設高等学校からの入学生に対する特待制度の導入
- ③本学 HP の充実による広報活動の改善
- ④入試制度改革の実施

2021 年度入試制度改革の実施と検証を行う。

4. 地域貢献（地域連携）の推進

- ①本学公開講座の充実
- ②地域の要望に合わせた教員の派遣（近隣の市の講座や各種委員会への派遣）の推進
- ③教員免許更新講習の開講による地域の幼稚園教諭への支援
- ④学生ボランティア活動による地域貢献の推進

5. 収容定員充足率の改善

上記 1～4 を通じて収容定員充足率 100%を目指す。